

議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和5年12月20日（水）午前9時30分
- 2 閉会日時 令和5年12月20日（水）午前9時45分
- 3 会議場所 熊山支所大会議室
- 4 出席委員
1 番 牛尾 直人君 6 番 光成 良充君 8 番 大口 浩志君
9 番 治徳 義明君 11 番 金谷 文則君 13 番 福木 京子君
15 番 下山 哲司君
17 番 佐藤 武議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
な し
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 土井 常男君 副 参 事 野田 順子君
- 8 協議事項 1) イスラエルとハマスによる紛争の即時停戦と平和実現を求める決議について

午前9時30分 開会

○委員長（下山哲司君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より挨拶をお願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 本日は12月定例会最終日ということで、大変お世話になります。本日、急遽議会運営委員会開催をお願いいたしました件については、皆様御承知のとおり、イスラエルとハマスによる紛争が現在も継続しているというような状況の中で、全国的に決議をしている自治体が出てきております。ざっと横須賀市、釧路市、茨城県の取手市、それから静岡市、県内では岡山市というような自治の議会が決議をしております。そうした中で、赤磐市としましても本日最終日を迎えるという状況の中で、平和の実現を求める決議をすべきではないかということで、下山委員長とも相談をさせていただきまして、急遽議運の委員の皆様にご御解をいただければということでお集まりをいただきました。よろしくをお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） それでは、これから協議事項に入ります。

イスラエルとハマスによる紛争の即時停戦と平和実現を求める決議について、ただいま議長より説明がありました。

皆さん、何か御意見がありますか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 急遽送っていただいて、1日で何か御意見があったらというようなことをいただいたんですが、ちょっとそれは無理だろうと。大変重要なことでして、それでインターナショナルなことだし、それからこれには民族それから宗教の絡んだ国際情勢というものが十分理解できた後にしかこれについての議論というのはなかなか難しいと、私は実際にその現場に行った人間として思います。

もう一つ、この平和を願うというのは、これは当たり前の話で、当然これはやればよいと思うのですが、その前に、無差別的にハマスということになってますけど、その人たちがイスラエルへ入って人質を拉致、それから殺害をしたということについての非難決議をした後でこれをやるのが正当であって、それからまたこれをやる、このイスラエルとハマスだけのことを取り上げるよりも、前ロシアがウクライナへ侵攻したときにも決議をいたしましたけども、その後何ら改善もないことについてのある程度の意思表示をするということも先決問題があるかと思いますが、なぜこれを先に今日やらなきゃいけないかということが私は疑問であります。

○委員長（下山哲司君） 議長とも御相談させていただいたんですが、よそがやり出したんで、いつも私、やるんならよそより早くというか、そういうことで議長に御意見を申し上げたら、議長もこういうことでやるならということで、今日皆さんに御相談をかけたような次第で

す。

イスラエルとハマスというのは、イスラエルも同じ1つの国に、一国主義とか何かという、そういうようなことでトラブルがある中での争いなんですけど、停戦を求めるということで単純に考えたら、よそが声を上げるんならうちが先に上げたいという思いで、皆さんに今日御相談を申し上げよんで、そういうことで御理解がいただければというふうに思います。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 申し訳ないですけど、こんな大変重要なことをよそと競争して先に何かをして手柄みたいなことをやるというのは、全くナンセンスなことで、平和を求める決議ということであればもちろん賛成ですし、この書かれている文言が果たして正しいのかどうかということの検証をどなたがきちっとしたのかということ、これはいいかげんなことではないと思います。本当、大変なことなんです、これは。だから、とにかくそれは民間人を巻き込んだ紛争を早期解決することを求めるという、ハマスとそれからイスラエルに対してするのは当然いいと思います。

これがどこに、誰にこれを持っていくのか、イスラエル大使館へ持っていくのか、それからハマスまで持って行って話をするのか、うちの国会のほうへ持って行って総理大臣に行けというこの請願をするのか、この間から岸田総理のほうもG7を含めているんな集まりでこのことについては話をされておりますが、その結果としての現状ということを皆さんも十分認識されとると思いますので、どこへどういうふうにするのか教えてください。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 決議ですので、いわゆる赤磐市議会の意思決定として、こういう紛争を解決して、国連あるいは国際機関に対して解決をお願いしたいと、そういう立場で紛争を解決してほしいという強い思いを赤磐市議会の総意として決議をするということが決議の意味ですので、この決議をどこに持っていかとかそういうことはございません。ただ、そういう赤磐市議会と市民とともに平和を求めるという意思表示の決定ですので、そういうことで御理解をいただきたいと思います。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私も意見を言わせてください。

これはもう、みんな一番本当に何とか停戦してほしいという思いはずっと持っておられると思います。それで5日間の停戦で、あれが長引いて本当に子供や女性が安心して住めるようにしてもらいたいのがみんなの思いなんです。それで、これを一人一人が皆思ってるんだけど、やはり市民の代表のこの議会がその思いを聞いてきっちり、今の時期だからこそ一日も早

く、これを、みんなの総意の声を上げるということは物すごく大切なことだと思います。その文言の中に国際法違反、そういうふうな文言もあるでしょう。だからここでちゃんとされてるわけですから、この辺はある程度これを信頼しないといけないと思うんですよ。それを私は今の時期に一日も早く上げることが、みんなの思いに応える市民の代表の議会じゃないかなと思いますので、賛成です。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私、反対とかなんとかって言っとるわけじゃなくて、どうしてこののかっていうことを聞いとるので、私の意見が反対のように取られるのは心外なんですけど、当然平和っていうのが一番だとは最初に申し上げておりますので、福木委員にも御理解をいただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） 請願、陳情とはまた扱いが違うんで、赤磐市議会の決議ということなんで、その辺は今までもあったと思うんで、いろんなことで。御理解をいただけたらというふうに思っております。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 金谷委員が言われることも、いろいろ長い歴史があるので、イスラエル、ああいったエリアの難しい課題があるとは思いますが、私個人的には文言の、イスラエルとハマスによる紛争即時停止と平和実現を求める、この決議ですので、賛成をさせていただきます。

○委員長（下山哲司君） 皆さんにお聞きしましょうか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 先ほど治徳委員がおっしゃられましたけども、タイトルに紛争はすぐにでも止めて、やっぱり人命が失われるので、すぐにでもやめていただきたいという思いは個人的にはございます。それを、こういう、今金谷委員がおっしゃられたような中身の整合性という部分に関しては、私は専門家でもないのでよく分かりませんが、紛争を一刻も早く止めてくれと、平和の実現をとということに関しては私の頭でも何となく理解できるので、私はこの決議をすればいいのかなというふうには思います。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 先ほど金谷委員が言われたように、長い歴史の中であったことなんで、この紛争がどっちがいい、悪いというのは私たちには判断できないと思うんですね。ただ、民間人が犠牲になって亡くなっている方がたくさんいらっしゃるというところに関しては、平和というのは大変大事なことだと思いますので、この部分については賛同できると思

います。

ただ、今言われたような、長い歴史の中でのこの紛争というのをどういうふうにするのかっていうのは、この中では読み取れないっていうので、ただ赤磐市議会としては平和実現というのを求めるんですよっていう決意表明っていうか、表に出してくるというだけの部分であるならば、それは賛成をさせていただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 今光成委員が言われたように、もう平和だけの部分で表明しとるわけで、内容については触れてませんので、そういうふうに理解をお願いしたいというふうに思っています。

牛尾副委員長。

○副委員長（牛尾直人君） 難しい問題で、正直言うとよく分からないので、判断が。大口委員も言われたように、この内容が整合性があるのかというのも判断、個人ではできかねるので、平和実現ということだけで捉えれば、賛成です。

○委員長（下山哲司君） それでは、今皆さんに御意見いただきました。

皆さん、やることに関しては反対がないということなんで、一応この文書としては内容には触れてない、安全面だけの部分で表明の決議なんで、そういう方向で御理解いただいてやらせていただくということよろしいでしょうか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 委員長、副委員長で提出されるわけですから、あくまで今ここであった、結局は早く平和を、早く停戦をとということが趣旨だということを強調していただいて、いろんな背景があろうとも人命が一番ということでこの決議をするというような報告をしていたらありがたいかなと思います。

○委員長（下山哲司君） それではよろしく願いいたしまして、やるということで決定させていただきますので、よろしく願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 議運のほうで御理解いただいて決議をするということで、日程に追加をするということになりますので、日程の説明を若干事務局のほうからしていただいてもいいですか。どこで決議をするかというあたりを事前に。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） 今日の日程第2ということで、発議第5号ということで追加させていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 補足します。議案、請願等の委員長報告、それから採決を行った後に、決議案件を議題といたします。その後に委員会の閉会中の継続調査及び審査について御審議をいただくという日程になりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでよろしく願いいたします。

以上をもちまして議会運営委員会を閉会といたします。

午前9時45分 閉会